

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200064		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心しらかべ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき大字白壁244番地1		
自己評価作成日	平成27年2月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年3月17日	外部評価確定日	平成27年4月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者本位の介護を第一としており、その人がその人らしい自立した生活ができるように援助を行っている。毎月の行事やレクリエーションには入居者様が喜んで頂けるような計画を立案したり、地域の行事にも参加をしたり地域との交流を大事にしている。 又、入居者様の希望を出来るだけ取り入れたレクリエーション計画を実施している。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、民家や田圃、商業施設が立ち並ぶ久留米市に続く環状線沿いに位置している。職員は、理念を念頭に置き、利用者一人一人がその人らしく地域の一員として生活できるよう何が出来るかと考え日々の業務に従事している。外部研修・勉強会などにも積極的に参加し、職員全員が同じ意識を持ち質の向上に努めている。また、管理者は職員が要望・希望等気軽に言える様な雰囲気作りに努め、職員の急な休みや有給休暇などが取れるよう配慮している。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価/ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価/ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営会社の理念と施設独自の理念を朝礼時に唱和し管理者と職員の理念を共有し日々の業務で実践する様に勤めている。	運営会社の理念と施設独自の理念を朝礼時に唱和し管理者と職員の理念を共有し日々の業務で実践する様に勤めている。	施設独自の理念は、利用者が施設を家として、地域の中でその人らしく暮らせるように支援を行っている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームでの時節の催し物の際は地域のボランティアに参加して頂いている。地域の行事には職員、入居者共に出来る限り参加し地域との交流を図っている。	ホームでの時節の催し物の際は地域のボランティアに参加して頂いている。地域の行事には職員、入居者共に出来る限り参加し地域との交流を図っている。	地域の催しがあるときは、利用者・職員も参加している。また、回覧板を利用して地域の情報を知ることができる。施設へのボランティアの訪問を受け入れ、地域とのつながりが途切れないように支援している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2か月に一度の運営推進会議の際にはご家族や地域の方、保険者に参加して頂き情報交換を行っている。又、地域包括支援センターによる認知症の講義も開催し認知症の理解や支援に活かしている。	2か月に一度の運営推進会議の際にはご家族や地域の方、保険者に参加して頂き情報交換を行っている。又、地域包括支援センターによる認知症の講義も開催し認知症の理解や支援に活かしている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて施設の事業計画や行事、利用者の状況報告を行っている。いただいた意見や情報は職員に伝達し話し合いを行いサービスの向上に努めている。	運営推進会議にて施設の事業計画や行事、利用者の状況報告を行っている。いただいた意見や情報は職員に伝達し話し合いを行いサービスの向上に努めている。	区長・民生委員・市介護保険課職員・地域の方・利用者家族・施設管理者・職員等の参加で二ヶ月に一回開催している。施設の現状報告、行事報告等、を中心に行っている。この際、市の包括支援センターの方より認知症について講義を行ってもらい、サービスの向上に活かせるように努めている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鳥栖広域介護保険組合や地域包括支援センター、区長、民生委員、地域住民の方と情報交換を行い協力関係の構築に努めている。又、地域ケア会議にも参加して、事業所の実情やサービスを伝えている。	鳥栖広域介護保険組合や地域包括支援センター、区長、民生委員、地域住民の方と情報交換を行い協力関係の構築に努めている。又、地域ケア会議にも参加して、事業所の実情やサービスを伝えている。	三ヶ月に一回地域ケア会議を開催しており、事例検案の相談や情報交換を行っている。また、行政の担当者や利用者の実情についての報告、運営上の課題等についても話し合い情報を共有し、協力関係を築いている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について施設内で勉強会を行い理解している。夜間の安全確保以外の施錠は行っていない。	身体拘束について施設内で勉強会を行い理解している。夜間の安全確保以外の施錠は行っていない。	日常玄関の施錠は行わず、見守りに対応している。職員は、外部研修会に参加し、施設内の勉強会の場などで伝達し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内の勉強会で虐待について理解し日常業務で細心の注意を払っている。又、日々の業務での言葉遣いに注意し虐待防止に努めている。	施設内の勉強会で虐待について理解し日常業務で細心の注意を払っている。又、日々の業務での言葉遣いに注意し虐待防止に努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者及びケアマネは外部研修で学んでおり、施設内で勉強会を行い情報の共有を行う必要がある。	管理者及びケアマネは外部研修で学んでおり、施設内で勉強会を行い情報の共有を行う必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居希望者には事前に施設見学や、十分な説明を行い双方が納得の上で契約を行っている。	入居希望者には事前に施設見学や、十分な説明を行い双方が納得の上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時には可能な限り声をかけ意見や要望を伺っている。また、玄関に意見箱を設置して、意見や要望があれば職員間で共有し話し合い対処している。	ご家族の面会時には可能な限り声をかけ意見や要望を伺っている。また、玄関に意見箱を設置して、意見や要望があれば職員間で共有し話し合い対処している。	サービス担当者会議や家族の面会時などに出来るだけ声をかけ要望・意見が聞けるよう努めている。意見箱の設置しているが、現在まで利用はない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスや定期的に個人面接を行い、意見や要望を聞き運営に反映出来る様に取り組んでいる。	毎月のカンファレンスや定期的に個人面接を行い、意見や要望を聞き運営に反映出来る様に取り組んでいる。	日常のケアの時の気付きなど、その都度相談できる。6か月に一回は管理者との個人面接もあり、意見や要望を聞き運営に反映できるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすくやりがいのある環境を作る様に取り組んでいる。又、外部での研修へ参加の希望があれば可能な限り勤務時間内でいけるようにしている。	働きやすくやりがいのある環境を作る様に取り組んでいる。又、外部での研修へ参加の希望があれば可能な限り勤務時間内でいけるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員に法人の内外の情報の中から研修の情報を提供し、個人にあった研修、必要と思われる研修があれば声をかけ参加できる機会を作っている。参加した職員は、他の職員に向けて勉強会を開催する等個々がスキルアップできる場を提供している。	職員全員に法人の内外の情報の中から研修の情報を提供し、個人にあった研修、必要と思われる研修があれば声をかけ参加できる機会を作っている。参加した職員は、他の職員に向けて勉強会を開催する等個々がスキルアップできる場を提供している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での職員の相互訪問、地域で行われる地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議に出席するよう取り組んでいる。	法人内での職員の相互訪問、地域で行われる地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議に出席するよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員一人ひとりに担当を決めコミュニケーションの機会を増やし、入居者の方が安心出来るように、職員全体で取り組んでいる。	職員一人ひとりに担当を決めコミュニケーションの機会を増やし、入居者の方が安心出来るように、職員全体で取り組んでいる。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意見や要望を事前にしっかりと聞き、施設として説明を行い、家族の希望に沿うケアができる様に努めている。	家族の意見や要望を事前にしっかりと聞き、施設として説明を行い、家族の希望に沿うケアができる様に努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族と話しを行い、ケアマネジャーを中心に全職員で話し合い必要な支援を行うよう努めている。	本人・家族と話しを行い、ケアマネジャーを中心に全職員で話し合い必要な支援を行うよう努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に出きる事は可能な限り本人で行って頂き、利用者に必要な本人本位の支援を提供出来る様努めている。	利用者に出きる事は可能な限り本人で行って頂き、利用者に必要な本人本位の支援を提供出来る様努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の意見や要望を聞き、情報を共有する事で共に利用者を支えていける関係作りに努めている。	家族の意見や要望を聞き、情報を共有する事で共に利用者を支えていける関係作りに努めている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の馴染み深い人や場所を把握し、年賀状や手紙などの連絡をサポートし関係が途切れない様に努めている。	利用者の馴染み深い人や場所を把握し、年賀状や手紙などの連絡をサポートし関係が途切れない様に努めている。	入居時に家族より得た情報を基に、友人や馴染みの場との関係が途切れないように、利用者・家族と相談し携帯電話、年賀状、ボランティアの訪問など支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の特徴・生活歴を把握した上で日々のレクリエーションなどコミュニケーションの場を提供し交流が取れる様に支援している。	個々の特徴・生活歴を把握した上で日々のレクリエーションなどコミュニケーションの場を提供し交流が取れる様に支援している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も施設行事の参加の促しや、必要に応じて継続的に連絡を行う様に努めている。	退去後も施設行事の参加の促しや、必要に応じて継続的に連絡を行う様に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションの機会を設け希望や要望の把握に努めている。又、困難な場合には本人の状態観察やご家族からの情報収集を行いできるだけ本人本位に検討している。	コミュニケーションの機会を設け希望や要望の把握に努めている。又、困難な場合には本人の状態観察やご家族からの情報収集を行いできるだけ本人本位に検討している。	利用者一人ひとりに担当者を設け、日常の会話・ケア時などに表情や動作などから利用者の思い・希望などをくみ取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話を傾聴したり家族の方から話を伺う事で個々の生活歴の把握に努めケアに反映出来るように努めている。	本人の話を傾聴したり家族の方から話を伺う事で個々の生活歴の把握に努めケアに反映出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する方等の現状の把握に努めている	朝礼時の申し送りや、状況を記録に残し職員間での情報交換や話し合いで現状を把握した上で適したサービス提供に努めている。	朝礼時の申し送りや、状況を記録に残し職員間での情報交換や話し合いで現状を把握した上で適したサービス提供に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランは本人や家族の意見や要望を把握、確認し、職員や関係者で話し合いを実施し本人本位の介護計画を作成している。又、定期的な見直しや毎月モニタリングを行っている。	ケアプランは本人や家族の意見や要望を把握、確認し、職員や関係者で話し合いを実施し本人本位の介護計画を作成している。又、定期的な見直しや毎月モニタリングを行っている。	毎月モニタリングを行い、三ヶ月ごとに見直しを行っている。状態の変化や、新たな要望・希望があればその都度臨機応変に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護スケジュール、業務日誌等に毎日の記録をし、職員で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に生かしている。	介護スケジュール、業務日誌等に毎日の記録をし、職員で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施するように取り組んでいる。	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施するように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者と一緒に近所の量販店などで買い物をする機会を設けている。レクリエーションなどで地域の公園や施設も利用している。	利用者と一緒に近所の量販店などで買い物をする機会を設けている。レクリエーションなどで地域の公園や施設も利用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の在宅総合診療を利用し適切な医療の提供が受けられるように支援している。本人や家族の希望でかかりつけ医など通院することも可能なよう対応している。	協力医療機関の在宅総合診療を利用し適切な医療の提供が受けられるように支援している。本人や家族の希望でかかりつけ医など通院することも可能なよう対応している。	家族・利用者の希望を優先し、かかりつけ医の定期受診などは、家族に送迎を依頼しているが、急な体調の変化時は職員が対応している。歯科往診もあり、訪問看護ステーションより週一回看護師の訪問もあり相談も出来る。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の状態を観察し、異常の早期発見に努め変化があれば看護師に報告し適切な対応が出来るよう指示を仰ぎ支援している。	利用者の状態を観察し、異常の早期発見に努め変化があれば看護師に報告し適切な対応が出来るよう指示を仰ぎ支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	可能な限り治療の為に必要と思われる情報を提供し、病院へ職員が面会に行き情報交換を行ったり早期退院が出来るように努めている。	可能な限り治療の為に必要と思われる情報を提供し、病院へ職員が面会に行き情報交換を行ったり早期退院が出来るように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化や終末期について本人や家族の意思を確認している。利用者の状態の変化に利用者の状態の変化に応じて随時協議をして意向等を確認し家族・医師・職員全員で方針を共有し支援している。	入居契約時に重度化や終末期について本人や家族の意思を確認している。利用者の状態の変化に利用者の状態の変化に応じて随時協議をして意向等を確認し家族・医師・職員全員で方針を共有し支援している。	家族には、入居時に重度化や終末期について説明している。利用者の状態の変化に応じて、その都度話し合いを行い、方向を決めている。家族の希望があれば付き添うことも出来る。看取りの経験もあり、マニュアルも作成されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し緊急時の連絡先や対応を職員全体で把握している。またカンファレンス時勉強会も行っている。	緊急時マニュアルを作成し緊急時の連絡先や対応を職員全体で把握している。またカンファレンス時勉強会も行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を実施しており、より実践に近い形で消防職員等に立ちあってもらったり近隣の方にも参加して頂いている。	年2回の消防訓練を実施しており、より実践に近い形で消防職員等に立ちあってもらったり近隣の方にも参加して頂いている。	消防署の協力を得て区長・近隣の住民・入居者全員が参加し、昼間夜間を想定した訓練が年二回実施されている。職員は、非常警報装置・消火器の使用もできる。災害時の避難場所も確保されており、家族にも知らせている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は日頃から理念を念頭におき、入居者の尊厳を大切にしている。言葉遣いに注意し、一人ひとりに合わせた声かけや対応に配慮している。	職員は日頃から理念を念頭におき、入居者の尊厳を大切にしている。言葉遣いに注意し、一人ひとりに合わせた声かけや対応に配慮している。	接遇の外部研修に参加し、職員は利用者と同じ目線・高さと、人生の先輩として尊敬の念を持ち言葉かけや対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思い、希望を日々の会話の中で聞き取り、その人に合ったサービスを提供出来るように努めている。	個々の思い、希望を日々の会話の中で聞き取り、その人に合ったサービスを提供出来るように努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度活動の時間を決めているが、参加は強制せず本人の思いを尊重している。入居者中心とし、一人ひとりに合った過ごし方をサポートしている。	ある程度活動の時間を決めているが、参加は強制せず本人の思いを尊重している。入居者中心とし、一人ひとりに合った過ごし方をサポートしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回訪問美容に来てもらい、その人らしい身だしなみができるよう支援している。また、マニキュアを塗ったり、ビーズのアクセサリーを作ったりと楽しくおしゃれができるようレクリエーションにも取り入れている。	月1回訪問美容に来てもらい、その人らしい身だしなみができるよう支援している。また、マニキュアを塗ったり、ビーズのアクセサリーを作ったりと楽しくおしゃれができるようレクリエーションにも取り入れている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材と献立については、クックチルシステムを導入している為あらかじめ決まっているが、可能な入居者に副食のつぎ分や、食器拭きなどして頂いている。	食材と献立については、クックチルシステムを導入している為あらかじめ決まっているが、可能な入居者に副食のつぎ分や、食器拭きなどして頂いている。	利用者との時間を大切にとの思いで、副菜は温めるチルド食品を使用している。台拭き・つぎ分け・食器拭きなど利用者の出来ることは職員と一緒にやっている。月に一回、レクリエーションでおやつ作りをしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの水分量・食事を記録し、1日トータルでの摂取量も記載している。又、摂取量が少ない入居者には本人の好きな飲み物を提供したり、高カロリー食品で補ったり、入居者の方に合った方法で補えるよう支援している。	一人ひとりの水分量・食事を記録し、1日トータルでの摂取量も記載している。又、摂取量が少ない入居者には本人の好きな飲み物を提供したり、高カロリー食品で補ったり、入居者に合った方法で補えるよう支援している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は入居者の方に合った方法で口腔ケアを行い、清潔保持に努めている。	食後は入居者の方に合った方法で口腔ケアを行い、清潔保持に努めている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックシートを用いて排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を基本とし、入居者に合った排泄支援を心がけている。	排泄チェックシートを用いて排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を基本とし、入居者に合った排泄支援を心がけている。	入所時より一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけトイレでの排泄を基本とし排泄支援を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養バランス、栄養価に配慮し、毎日乳製品の提供を行っている。又、必要に応じてホットパックの使用や、腹部マッサージ等を行い便秘の予防に努めている。	栄養バランス、栄養価に配慮し、毎日乳製品の提供を行っている。又、必要に応じてホットパックの使用や、腹部マッサージ等を行い便秘の予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	原則的に週2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じて何時でも入浴可能としている。体調やプライバシーにも配慮しながら、入浴の支援を行っている。	原則的に週2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じて何時でも入浴可能としている。体調やプライバシーにも配慮しながら、入浴の支援を行っている。	入浴は、週二回以上を基本とし一人ひとりゆっくりと入浴できるようにしている。入浴日以外でも希望があれば入浴でき、拒否が強い場合は、無理強いせず時間を置き促したり、清拭や衣類交換などで対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者一人ひとりの生活歴や状況に応じて、安心できる環境、空間作りに努めている。	入居者一人ひとりの生活歴や状況に応じて、安心できる環境、空間作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬は看護師と職員が協力し、安全に支援できる様になっている。服薬の変更等あった際は記録と申し送りを行い伝達し、職員全員が確認できる様になっている。又、週に一度、事業グループの薬剤師が訪問し、情報交換や服薬指導をしてもらっている。	服薬は看護師と職員が協力し、安全に支援できる様になっている。服薬の変更等あった際は記録と申し送りを行い伝達し、職員全員が確認できる様になっている。又、週に一度、事業グループの薬剤師が訪問し、情報交換や服薬指導をもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事のつぎ分け、洗濯物たたみ、カーテン開け等、生活歴を活かし、その方に合った役割を持っていただいている。毎月計画する行事や、毎日違ったレクリエーションをし、楽しみや気晴らしが出来る様に支援している。	食事のつぎ分け、洗濯物たたみ、カーテン開け等、生活歴を活かし、その方に合った役割を持っていただいている。毎月計画する行事や、毎日違ったレクリエーションをし、楽しみや気晴らしが出来る様に支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望により、近隣のスーパーやコンビニに出かけたり、気候の良い時には散歩をしている。また、行事計画の中にドライブを取り入れ、その際は入居者の意見も取り入れ外食や買い物等行き先を検討している。	入居者の希望により、近隣のスーパーやコンビニに出かけたり、気候の良い時には散歩をしている。また、行事計画の中にドライブを取り入れ、その際は入居者の意見も取り入れ外食や買い物等行き先を検討している。	天気の良い日には散歩や、ウッドデッキで日光浴を楽しんだり、時々買い物には、出かけたりにしている。利用者の誕生日は、希望を聞き外食など楽しんでいる。墓参り・自宅への外出などは家族の協力を得て支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近隣のスーパーやコンビニに買い物ができる程度の金額は家族の協力のもと自己管理をして頂いている。	基本的に金銭の保管は事務所金庫で行っている。使用することに制限はしておらず、近隣のスーパーやコンビニに買い物に行きたいと希望される際はお渡ししている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月ご家族に郵送する写真に、入居者自らコメントを書いて頂いており、ご家族も楽しみにされている。また、本人が希望されたり、状況に応じて電話や手紙の代筆を援助している。	毎月ご家族に郵送する写真に、入居者自らコメントを書いて頂いており、ご家族も楽しみにされている。また、本人が希望されたり、状況に応じて電話や手紙の代筆を援助している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、入居者の作品である季節に応じた壁画や塗りえを飾りつけている。また、週間レクリエーションや月行事を記入したボードを飾ったりと、楽しみが持てるような空間作りに努めている。	共有空間には、入居者の作品である季節に応じた壁画や塗りえを飾りつけている。また、週間レクリエーションや月行事を記入したボードを飾ったりと、楽しみが持てるような空間作りに努めている。	玄関には季節の花が植えてあり、利用者や面会者の目を楽しませている。居間には、昔風の木の柱や梁があり、照明も温かみがあり落ち着いた雰囲気を出している。庭にサクラの木があり、実を付け利用者の目を楽しませている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにはソファや一人掛の椅子を設置し、思い思いに過ごして頂けるような居場所作りをしている。また、隣フロアへの行き来も自由にしており入居者同士の交流が出来ようになっている。	共有スペースにはソファや一人掛の椅子を設置し、思い思いに過ごして頂けるような居場所作りをしている。また、隣フロアへの行き来も自由にしており入居者同士の交流が出来ようになっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には入居者の使い慣れた家具や、希望の品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと、居心地の良い環境作りに努めている。	居室には入居者の使い慣れた家具や、希望の品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと、居心地の良い環境作りに努めている。	利用者の居室には家族の写真・テレビ・椅子・ミシン・机など長年使い慣れた物があり、自宅で過ごしているような安心感がある居室作りを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご家族や本人同意のもと、各居室にはプレートネームを設置し、場所がわかるようにしている。トイレや浴室もそれぞれ分かるように明記している。	ご家族や本人同意のもと、各居室にはプレートネームを設置し、場所がわかるようにしている。トイレや浴室もそれぞれ分かるように明記している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない